

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)	◎	衣料品専門店（経営者）	・熱中症対策商材に力を入れて、在庫も確保している。4月から本格的にスタートするため、良くなる。
	◎	ゴルフ場（経営者）	・例年、3か月後の6月前半はゴルフシーズンの最盛期でもあり、期待を持てる。ただし、原油危機がいわれているなかで、どこまで末端の消費者に影響が出るのか不透明な部分もあり、安心していられる状況ではない。
	◎	住宅販売会社（従業員）	・今月の販売量が悪すぎるため、普通に推移すれば単純に今月より良くなる。住宅ローン金利も上がる予定であり、余り良いニュースはないものの、コストを抑えた新商品の発売や建売分譲住宅の価格改定を行い、販売増加につなげる。
	○	一般小売店〔文房具〕 （経営者）	・3月の動きから、新学期である4月も学童用品を中心に販売量は上がる。学童用品は、まとめ買いの傾向があり、家族連れの来店で迷わず購入する（東京都）。
	○	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・顧客数増加に向けた施策を行うことで、やや良くなる（東京都）。
	○	一般小売店〔傘〕（店長）	・これからの季節は雨天と日ざしの強い日が増えてくるため、良くなることを期待している。
	○	百貨店（営業担当）	・前年に落ち込んだ免税売上に対する回復基調は続く。衣食を中心とした国内需要も順調に推移しているため、全体としては微増傾向が続く（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・人気の宝飾及び時計ブランド、メゾンブランドが続々とオープンし、売上、来客数共に期待できる（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・若年富裕層の購買意欲が活発で、外商受注会の予約が数か月先まで前年比でみて増加傾向にある（東京都）。
	○	コンビニ（経営者）	・これから春先にかけて気温がどんどん上昇するため、ソフトドリンクやアイスクリームなどの販売が伸びる。
	○	コンビニ（従業員）	・通常の店舗であれば、真夏は売上が落ちる時期になる。暑さが厳しい時期は来客数が減る。しかし、当店は近くに市民プールがあるため、夏は売上が大幅に伸びる。夏前までは現状と同じような景気が続くともみられるが、世の中の景気が良くなれば、自然と来客数、販売量も増える可能性が高くなる。
	○	コンビニ（従業員）	・真夏までは行楽シーズンで来客数、販売数がやや増える。新たな商材として焼きたてパンを販売する予定もある。来店動機を増やす商材として、これからの動きは重要である。
	○	家電量販店（店長）	・ゴールデンウィークから夏休みに入るシーズンのため、インバウンドの増加で需要が拡大することが期待できる（東京都）。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新車販売もサービス部門も前年より増加しており、今後も続く見込みである。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・中東情勢の影響がなければ、もっと良くなる（東京都）。
	○	一般レストラン（経営者）	・高単価メニューの注文が増えているため、客単価も上がっている。3月下旬から花見シーズンとなり、気温も上がってきて、繁華街に出掛ける人も多くなっている。ただし、原材料の値上がり、人件費の高騰もあり、利益に結び付けることが難しくなっている（東京都）。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・イベント開催が多くなるため、ある程度の売上を見込める。
	○	タクシー運転手	・花見、歓送迎会と飲む機会が多くなり、利用も少し増えるとみている。物価上昇が気になるが、ここに来てロングの利用客がいるため、やや期待している。
	○	通信会社（経営者）	・案件の受注及び工事関係が増加傾向にあるため、景気はやや良くなる（東京都）。
	○	通信会社（社員）	・CMや番組依頼の引き合いが継続している。来年度に向けた準備を進めている（東京都）。
○	通信会社（経営企画担当）	・年度が替わり案件数が増加し、動きが活発になる（東京都）。	
○	通信会社（営業担当）	・全国的な賃上げの影響により、購買意欲が向上している（東京都）。	

○	ゴルフ場（従業員）	・天候が暖くなるため、来客数が増えるの見込んでいる。
○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（営業担当）	・6月からサッカーワールドカップが始まり、スポーツ参加への気運が高まるとみている（東京都）。
○	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・関係者との間で、繁忙期とされる時期がずれていることが話題に上がることが多い。
○	住宅販売会社（経営者）	・都内のホテルの宿泊料金が上昇しつつあるため、ホテル業界は今後ますます良くなる。建設費の高騰で我々中小企業はなかなか厳しい環境にあり、賃金を上げることができない。
○	住宅販売会社（従業員）	・物価や金利は上がっており、賃金も上昇しているため、今後も景気は少しずつ良くなっていく。
○	住宅販売会社（総務担当）	・原価の高騰を価格に反映した上でも高額商材を求める客もいるが、一部の層に限られており、そうでない客との格差が広がっている。しかし、そうした一部の客層がけん引し、事業としてはやや上向くとみている。
□	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・物価高の傾向のため、変わらない。
□	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・蛍光灯の販売終了やエアコンの2027年問題について客に知らせていこうと考えている。省エネ補助金も年度が替わればまた始まるとみている。
□	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・社会情勢次第である。
□	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・物価上昇、原油価格の高騰など消費にマイナスなことが多く、需要拡大は期待できない。
□	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・中東情勢に伴う世界的にエネルギー燃料等の問題がある。エネルギー問題から派生した物価上昇があるとみられるため、非常に難しい局面である（東京都）。
□	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・4月の入学、入社時期は、1年を通じてよく売れる時期である。客に適したメガネの提案を行い、しっかりと売っていく。
□	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・5月は新茶の時期なので、何とか売上を伸ばしたい（東京都）。
□	百貨店（売場主任）	・総じて、ハレ需要の贈答品は堅調である一方、ケ需要の日常消費は節約志向が継続しており、消費の2極化が進んでいる（東京都）。
□	百貨店（総務担当）	・中東情勢が不透明ななか、原材料価格の上昇のみならず、原材料の供給不足による影響も出てくる可能性が否定できず、先行きは見通せない。物価全体の上昇傾向は続くと想定しているため、購入単価の緩やかな上昇は期待できるものの、実質賃金の上昇が追い付かない状況が続けば、当面は現状のまま変わらない（東京都）。
□	百貨店（総務担当）	・混とんとする世界情勢の影響を受け、物価高が一層進行するなど不安定な状況が継続している。一方で、足元の景気は明確な後退には至っていない。今後の景気は各種リスクの動向次第で左右される（東京都）。
□	百貨店（総務担当）	・中東問題がどのくらい続くか見通しが立たず、国内消費への影響が読みにくい（東京都）。
□	百貨店（広報担当）	・インバウンドの動きは不透明だが、ここから更に悪化する材料に乏しい。また、国内客については、中東情勢が一段と不安定となり、原油が更に高騰するリスクなどがあるものの、当店の常連客についてはそういったマクロ影響を受けにくく、むしろ最近のインフレマインド定着から、今が最安であり買い時だという風潮から、必要な消費を後回しにしないことが予想される（東京都）。
□	百貨店（営業担当）	・特にプラス要因は見当たらず、中東情勢など不確定要素が多いため、先行きは不透明である（東京都）。
□	百貨店（販売促進担当）	・直近の傾向から考えると変わらない（東京都）。
□	百貨店（管理担当）	・中東情勢の影響が長期化し、燃料などの価格高騰が続く（東京都）。
□	スーパー（経営者）	・原油価格高騰なども多少関係しているとみられるが、値上げにより客が節約志向になっていることが大きい。それに加え、青果はずっと相場安が続いているため、単価がなかなか上がらず、足を引っ張っているところもある。

<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・可処分所得が増えていないため、節約のトレンドは変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・前年と違い、価格上昇の気運が一時的に落ち着いているため、大きな変化はないものの、原油調達の問題が長期化した場合、商材によっては前年の米不足と同じような状況につながる事が予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・中東情勢の影響により更に物価が上がりそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・中東情勢の影響もあり、単価の上昇はまだ継続するとみられるが、販売数、来客数の動向次第で今後の売上及び利益が変わってくる（東京都）。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・来客数の動きが2～3か月前と変わらないことから、2～3か月後も値上げが控えているなか、変わらない動きとなる予想である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・デリーユーザーの利用はそこまで変わらないが、中国からのインバウンドの来店が明らかに減っており、この流れは続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・商材の値上がりが続くようであれば、この先は更に厳しくなる。一方で、自家需要商材等の販売は好調のため、今後の動向を注視したい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・一時的に対策を打ったとしても、恒久的な対策がみえない限り、商材価格の改善は難しい（東京都）。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・懸念材料は、日常の物価上昇に加え、中東情勢によりエネルギーを中心に更なる物価上昇が見込まれ、それがいつまで続くか不明なことである。今のところ売上面では大きく影響は受けていないものの、長期化すると消費者の一層の生活防衛意識が強くなり、消費の冷え込みにつながる。収益面では、既にこん包資材等の価格が上昇しており、計画値を下回る可能性が高い（東京都）。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（役員）	・原油価格の影響等、物価上昇のために、客は衣料品を購入する余裕がないとみられる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（従業員）	・世界情勢が安定しないと、今後も影響を受ける。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・いろいろな物が値上がりし、先行きが不安なため、まだしばらく現状のまま変わらない。しかし、高額商材、エアコンや冷蔵庫などの省エネ商材は安定して売れている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・今のところ、景気が良くなる兆しはない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・気候が良くなるとレジャー費が増え、自動車に掛けるお金は必要最小限になる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・景気は悪い状態のまま変わらない。原油価格高騰、中東やウクライナも含めて世界情勢がなかなか良くならないため、景気の安定や復活はできないとみている。新入社員の初任給を大きく上げている大手企業もあるものの、既存の社員に対する賃上げについては期待できないため、今後も景気はやや悪いままで変わらない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（営業担当）	・レストラン、宴会共に前年と同様の推移で予約を受注している（東京都）。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・レストランは3月も客が一杯入っており、2～3か月先もそれほど変わらない。席数から客の入れる人数は決まっているため、極端に伸びるということはない。3月は人の出入りが激しいことから、ケータリングも多く、売上が伸びるが、2～3か月先は人の動きが落ち着いてくる時期のため、今よりは少なくなる。全体的には今月と同じくらいかやや良くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・毎年、3～4月は大体同じようなペースで歓送迎会の予約がある。週末も花見イベントで客足が多くなる（東京都）。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [カフェ]（経営者）	・インターネットと実店舗での販売が半々だが、インターネット販売は安定しており、将来的にはこちらが主流になりそうな気配がある（東京都）。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・4月以降に値上げされる物が多く、景気が良くなる要因は見当たらない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [給食・レストラン]（役員）	・2026年度に向けた価格転嫁交渉も計画以上に積み上がっているが、賃上げなど人事制度改正等により収益水準はやや悪くなるか横ばいになると予想される（東京都）。

<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	・宿泊部門、宴会部門共にこの先2～3か月はやや良くなる見込みではあるが、世界情勢の影響からエネルギー関係や原価等がかなり上昇しており、先の見通しが立たないため、不安である。早く収束することを願っている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・3～6か月先の計画を立てなければいけないような商売ではあるが、現状ではそこまで先の見通しが立たないため、変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・特に客が増えるとは考えられないが、個人タクシーなので、燃料代の高騰で景気がどうなるのか心配である（東京都）。
<input type="checkbox"/>	タクシー（団体役員）	・悪くなる可能性が高そうだが、現時点では分からない。中東情勢次第ではないか。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・中東情勢の緊迫化により物価が上昇し、消費に対して前向きになる状況が見通せない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（局長）	・グローバル環境が大きく変化しているなか、当社としては原価高騰の影響を受けるが、それ以外の部分では余り変わらないこともあり、エリア外営業を強化しながら更にB to B関連を伸長させていけば、全体的な売上、利益の確保はしばらく続くと思われるため、何とか現状を維持できる見込みである（東京都）。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・良くなる材料がない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（管理担当）	・契約数の伸び悩みはしばらく継続する見込みである（東京都）。
<input type="checkbox"/>	通信会社（管理担当）	・案件が一段落するため、新規案件の開拓を行いつつ、変化する市場への対応が必要である。そのため、総合的には変わらない見込みである（東京都）。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経営企画担当）	・映像視聴及び通信需要は短期的な経済状況に左右されないため、変わらない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・世界情勢による影響が何らかの形で出てくる（東京都）。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（経営者）	・ウクライナや中東情勢など、悪い材料しかない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（経営者）	・春のハイシーズンになるが、原油価格と円安に起因した物価の上昇がレジャー支出を抑える要因となる。
<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・休止している事業の再開予定がない。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [ボウリング場]（従業員）	・不安要素はあるものの、現時点では大きく変わらない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	その他サービス [フィットネスクラブ]（エリア統括）	・中東情勢による先行き不安のなか、更に物価高が進む不安感が個人消費の足を引っ張る可能性がある（東京都）。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（職員）	・石油価格の問題が大きく影響する。いつまでこの状況が続くのか見通せず、世界情勢次第である（東京都）。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・資料請求件数に変化はない。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・国際情勢や原油価格などの不安要素は、日々の購買行動や消費マインドにじわじわと効いてくる。短期的には物価対策のおこめ券に代わる区内共通商品券などの効果が商店街にもあるだろうが、一過性に終わるとみている。不安要素の方が大きい（東京都）。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店 [印章]（経営者）	・年度末の区切りで商材に多少の動きがある。4月も期待したいが分からない。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店 [酒類]（経営者）	・世界情勢から、改善する兆しが見えない。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店 [生花]（店員）	・2～3か月先の5月は母の日があるものの、最近の母の日は余り花が売れない。個人商店ではいろいろと難しくなっている（東京都）。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店 [文具]（販売企画担当）	・小売部門ではいろいろな物を駆使していることもあり、売上が伸びている。外商部門もそれなりに案件はあるが、懸念材料としては、シンナー等の石油由来の内装向け資材の枯渇や値上がりの連絡がきていることである。そのため、この先は原価率が上がり、景気はやや悪くなる。
<input checked="" type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	・フロア改装に向けた工事が続くため、全館での売上に影響を与える。

▲	百貨店（営業担当）	・原油価格の上昇が、入居テナントの商材に今後どのような影響を与えるのかまだみえない。石油製品を多く扱う100円均一のような店は値上げをするのか、生活コストが上がり、嗜好品やぜいたく品の買い控えにつながるのか等、懸念材料は幾つも考えつくが、良い材料は見当たらない。食料品の消費税減税が起爆剤になることを期待している（東京都）。
▲	百貨店（営業担当）	・中東情勢の不安定さにより、物価上昇や株価の乱高下などマイナス要因が多い。これまでの状況が続くような楽観視はできず、消費行動の減退に直結する可能性が高い（東京都）。
▲	百貨店（販売促進担当）	・現政権の政策により消費気運が高まることを期待したが、中東情勢の緊迫化による不安感の高まりから、客の消費意欲は減退するとみられ、景気はやや悪くなる。
▲	百貨店（財務担当）	・中東など地政学リスクの高まりによる物価高が個人消費に影響を及ぼす（東京都）。
▲	百貨店（企画宣伝担当）	・国際的な政情不安やガソリンを始めとする生活必需品の価格高騰により、消費マインドが停滞する。
▲	百貨店（店長）	・世界情勢の先行きが見通せず、原油を含めた物価の上昇が再度加速すると想定される。大企業は賃上げできているようだが、中小企業は大幅な賃上げは期待できないため、購買意欲が高まることは考えられない。
▲	百貨店（管理担当）	・世界情勢の変化により、客が購買に一層慎重になると予想される。一方で、作業委託費やシステムに係る固定費は上昇し続けており、客の財布のひもが固くなると宣伝費等を緊縮しなければならないため、より景気が悪くなる（東京都）。
▲	スーパー（経営者）	・1品単価が上昇し、買上点数が減少している。ガソリン価格上昇の影響により心理的にも節約志向が進むとみられる。今後も更なる値上がりがあるため、良くなる見込みはない。
▲	スーパー（経営者）	・中東情勢が不透明である（東京都）。
▲	スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、世界情勢が不安定ななか、食料品においても物価上昇が考えられるため、現在よりも良くなるとは考えにくい（東京都）。
▲	スーパー（仕入担当）	・中東の海峡の原油調達については、工場稼働、物流等の燃料に関わる問題と、ペットボトルや食品トレイ、容器、手袋、レジ袋等のプラスチック製品製造に関わる問題があり、今後大きく値上げや原材料不足が生じてくる。
▲	スーパー（販売担当）	・中東情勢次第である。
▲	コンビニ（経営者）	・買上点数が減り、おにぎり等の単価が上昇している商材に全く手が伸びない傾向が非常に強くなっているため、やや悪くなると考える。
▲	コンビニ（経営者）	・休日におけるコンビニの利用のされ方が改善されるのが課題である。
▲	コンビニ（経営者）	・中東情勢にもよるが、物価高が続くと客はコンビニより安価なドラッグストアやミニスーパーに行ってしまう。最近コンビニでは当店も含めて初めて値引き販売を進めている。値引きを行うことにより来客数を取り戻したいものの、まだ厳しい。
▲	コンビニ（経営者）	・中東情勢の影響により株価が大きく低迷し、原油価格も高止まりしそうな気配で、原油の輸入動向次第ではインフレが起きる公算が大きい。先が見えないことも不安要素である。所得が増えても燃料費や製品が値上がりしては、消費は伸び悩む（東京都）。
▲	コンビニ（エリア担当）	・4月に加熱式たばこの増税に伴う値上げがあるため、買い控えから売上が厳しくなる（東京都）。
▲	コンビニ（エリア担当）	・今後も物価高に伴う来客数の減少傾向に変化はない（東京都）。
▲	衣料品専門店（経営者）	・円安が続くなか、ガソリン価格が急騰し、原材料費も大幅に上がっている。客に見積額を伝えてしまった手前、急に値上げするわけにもいかず、利益の確保が難しくなっている。物価が安定しない限り、この先はやや厳しくなる。

▲	家電量販店（店長）	・賃上げが定着してきているが、世界情勢の影響によりインフレリスクが再燃しているため、更なる物価高やエネルギー関連の値上げで消費活動に影響が出る。4月からの値上げが食品だけで2000品目を超えることから、財布のひもが締まることは予想がつく。これらの要因を考えると、景気はやや落ち込む。
▲	家電量販店（店員）	・物価高によりやや悪くなる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・中東情勢次第で上振れも下振れも考えられる（東京都）。
▲	乗用車販売店（総務担当）	・世界情勢に鑑みて、買い控えがあると予想している。
▲	乗用車販売店（渉外担当）	・中東情勢が大きな不安材料となる。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・ガソリン代が高騰していることとローン金利の上昇が影響し、来客数が減っている（東京都）。
▲	住関連専門店（店員）	・原油調達の問題があり、物価は上昇する一方である（東京都）。
▲	その他専門店〔貴金属〕（統括）	・社会情勢が不安定ということもあるが、物価上昇など生活していく上で必要な消費に対する不安があることから、景気はやや悪くなる（東京都）。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・中東情勢の地政学リスク次第であるが、原油価格の高騰が続けば、石油製品は元より化学品や輸送等、様々な分野でコストが上昇し、消費マインドが冷え込む（東京都）。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・ガソリン価格の急速な上昇に加え、原油価格高騰の影響による更なる物価上昇も見込まれるため、購買行動は縮小傾向となる（東京都）。
▲	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・天候も安定せず、不安材料が多い（東京都）。
▲	高級レストラン（経理担当）	・足元の法人客の売上は減少していないものの、業績が良い今期中に消費しようという声も聞かれる（東京都）。
▲	都市型ホテル（経営者）	・中東情勢の影響による燃料価格の上昇もあるが、何より平和が脅かされると観光や人の動きが阻害される。日中関係に加えて世界情勢に問題が生じる状況では良くならない（東京都）。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・中東情勢の緊迫状態がかなり長引きそうである。
▲	旅行代理店（従業員）	・中東情勢の先行きが見えないなか、政府の備蓄燃料放出もどれほど効果があるか不明である。先行きの見込みも良くない（東京都）。
▲	旅行代理店（営業担当）	・国力が低下している（東京都）。
▲	旅行代理店（営業担当）	・中東情勢の影響により、物資不足、物価上昇によりレジャーにお金を掛けなくなる。
▲	タクシー運転手	・ガソリンや食料品を含め物価の上昇が著しく、毎日の生活に困窮している人が増えてきている。今後ガソリンや食料品の価格が下がることを期待している。
▲	タクシー運転手	・現時点では、中東情勢がこれからどのように影響してくるのか、原油調達が滞ることで燃料代が高騰し、それによりどのような変化があるか読めない。現状それほどの影響はないが、今後の動向によっては変わる（東京都）。
▲	通信会社（管理担当）	・物価上昇により販売数は横ばいである。
▲	通信会社（経理担当）	・原油の価格転嫁が夏頃までは続きそうである。原油の備蓄放出で物資不足にならなければよい。
▲	通信会社（営業担当）	・原油価格を含めて余りポジティブな話がない（東京都）。
▲	観光名所（職員）	・中東情勢の影響がこのまま続くようであれば、景気は良くならない。家計への負担も大きくなり、観光等レジャーへの支出は自ずと縮小するとみている。インバウンドについても、燃料費の高騰や空路の安全が旅客機の運航にも影響するとみられることから、良い見通しが持てない（東京都）。
▲	ゴルフ場（従業員）	・石油の安定供給が見込めず、中東情勢の影響が長引けば長引くほど、物価上昇にとどまらず、必要な物が手に入らない状況に陥ることが懸念される。

▲	パチンコ店（経営者）	・中東情勢が緊迫化し、国内を取り巻く環境は、原油価格高騰や円安の影響によりインフレが加速、あるいは高止まりし、消費動向は低下基調に向かうと予想される。
▲	その他レジャー施設〔複合文化施設〕（財務担当）	・中東情勢の影響による原油価格高騰が心配である（東京都）。
▲	その他レジャー施設〔映画〕（営業担当）	・中東情勢の影響があり、世界経済が安定しない（東京都）。
▲	その他レジャー施設〔総合〕（経営企画担当）	・中東情勢の影響を受け、訪日キャンセルが増えている。また、原油価格の高騰の影響による物価高に加え、不安定な株価による心理的な影響もあり、景気動向は悪化が想定される（東京都）。
▲	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・相変わらず物価上昇が続いているため、生徒数は減少している。教育費に回すお金を増やせないという親が多くいるため、景気は下向きになる。
▲	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・契約メインの商売のため、転勤等で契約者数が減るリスクがある。中東情勢の影響による原油価格の高騰で、今後のメンテナンス費用の増加が気掛かりである。
▲	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・中東情勢が見通せず、全般的に景気は悪くなる。
▲	設計事務所（経営者）	・中東情勢の緊迫化で、世界が全く変わろうとしている。建築資材の価格高騰などを考えると、現状は非常に悪い。
▲	設計事務所（経営者）	・中東情勢をきっかけに、今後の資材、労務費の高騰に歯止めがかからず、先行きが不透明である。
▲	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・建材需要期が一段落するなか、大型案件もあるものの、前年の総量を超える見込みはない。仕事量は目減りする傾向にある（東京都）。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・原油価格の高騰でガソリン代への影響が大きくなっていく。ほかにもなかなか入ってこない商材もある。照明器具などはメーカーからいつになるか分からないといわれており、エアコン等も値上がりしているため、この先は苦しくなる（東京都）。
×	一般小売店〔書店〕（総務担当）	・輸送費の上昇はもはや避けられない。中東情勢の緊迫化前に、取引先と配送料を含めた契約を締結しており、増加分の輸送費を転嫁することは困難である。このため、2～3か月先の業績悪化は避けられない見通しである（東京都）。
×	スーパー（ネット宅配担当）	・4月以降の値上げラッシュと原油価格の推移によっては、見通しが立たなくなるおそれがある。
×	スーパー（食品担当）	・各企業の努力によるところが大きいですが、支えきれなくなる（東京都）。
×	コンビニ（経営者）	・オイルショックのときのようなことが起きるような雰囲気がある。噂というのは怖いもので、徐々に買占めが始まっている。
×	コンビニ（経営者）	・中東情勢の懸念で外出を控える様子が見受けられる。この状態でいつまで商売ができるか不安である。
×	乗用車販売店（営業）	・ガソリン価格の高騰もあり、車の買換えが進まない。
×	住関連専門店（営業担当）	・中東情勢の緊迫化により石油由来製品の値上げ、品不足や消費マインドの冷え込みなど多大な影響があるとみられ、楽観的な見通しは立たない（東京都）。
×	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・原油調達の行方次第で、いろいろな商材が供給不足になる可能性がある。
×	高級レストラン（役員）	・対米首脳会議は終了したものの、中東情勢の影響による世界的な原油価格の上昇から始まる経済悪化と、不透明な先行きへの不安感は続く（東京都）。
×	高級レストラン（仕入担当）	・世界情勢の影響により、経済の減速は避けることはできない（東京都）。
×	一般レストラン（経営者）	・3か月後、中東情勢が落ち着いても、重油等のエネルギー資源が回復するのは大分先になる見込みである。ガソリンなどの石油製品等が値上がりするため、売上はなかなか戻らないとみている。
×	一般レストラン（経営者）	・米国の政策や中東情勢の影響により、食材のほかにラップなども価格が上がるといわれている。食材、資材に加え欧州等からの輸入品も値上がりし続けている。その上、外食機会も減ると、外食産業は厳しくなる。

	×	一般レストラン（経営者）	・中東問題が長引いた場合を予想しての回答である。
	×	その他飲食 [カフェ]（経営者）	・石油調達の問題で、現時点でも値上がりの話が出始めている。この2年ほど様々な資材や原料価格が上がり、値上げが続くなか、更なる値上げは、消費者からするとまず身近に必要な物を買うことからとなり、嗜好品や外食への支出は厳しくなってくる。早く中東情勢が落ち着くことを願うばかりである（東京都）。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・中東情勢の影響がある（東京都）。
	×	旅行代理店（従業員）	・中東情勢の影響によるエネルギー価格の上昇及び世界情勢不安のため、旅行控えが発生すると予想している。
	×	旅行代理店（従業員）	・海外旅行は世界情勢と航空券の燃油サーチャージの値上げのダブルパンチである。欧州、長距離路線はかなり厳しくなり、集客できても利益率の低いアジア圏のみとなりそうである。また、国内旅行も前年の大阪・関西万博のような大型イベントもなく、物価高の影響もあって動きが鈍いため、かなり苦戦する見通しである（東京都）。
	×	通信会社（社員）	・中東情勢が落ち着くことはない。原油に端を発する物価上昇に、明るい兆しはどこにも見当たらない（東京都）。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・中東情勢の影響により経済の先行きが不透明である。今後も素材、エネルギー価格の高止まりは続き、固定費の回収すら苦慮する経営環境にあり、利益を創出できない状況が続くことには変わりはない。3か月後に当たる6月下旬は気温が高くなり始める時期であり、楽観視はできない。物価上昇、実質賃金低下により、生活防衛を意識して高額レジャー支出の抑制が顕著となる状況を総合すれば、景況感の回復を展望することは困難である。
	×	その他サービス [学習塾]（経営者）	・集客期にもかかわらず反響が悪すぎる。
	×	設計事務所（所長）	・仕事の受注見込みがない。
企業 動向 関連  (南関東)	◎	その他サービス業 [ソフト開発]（従業員）	・決算ボーナスもだが、7月昇給も前年同様に行う予定である。景気は上向きである。
	○	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・全体的には余り変わらないと回答したが、部分的にみると今月は会社設立印の注文が5本あり、例月よりはやや多くなっている。また、個人の実印で、ふだんは1本の注文が多いところ、家族分もまとめて4本という注文があり、その客とは別に1本余計に作る客もいた。印鑑は必要になって作るものだが、景気がやや上向いてきて、財布のひもが緩くなっているとみている（東京都）。
	○	金属製品製造業（経営者）	・夏場にかけて忙しくなる取引先が多くなっているが、当社にはほとんど影響がなく、厳しい状況が続く。新規客の開拓を進めているため、2～3か月後には多少は効果が出ることを期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先からの内示では、取引量が増えるところと減るところがあり、相殺される可能性があるものの、総じて単価の適切な見直しに応じてくれた取引先の取引量が増える予定である。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・AI関連半導体製品の需要が拡大し、客の要求に応えることができれば、確実に当社の景気は良い方向に向かっていく。
	○	建設業（経営者）	・政治が安定してきているため、やや良くなる。
	○	その他サービス業 [警備]（経営者）	・このまま推移していけば利益率が上がり、売上も伸びる。
	□	食料品製造業（経営者）	・これから値上げがどの程度まで続くのかまだ分からないため、心配している。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・中東向け医療品容器の大型案件に、原料調達が対応できるか心配である。
	□	金属製品製造業（経営者）	・中東情勢の影響により将来の予測が難しい。
	□	精密機械器具製造業（経営者）	・ウクライナや中東情勢によりエネルギー、原材料、物価上昇、円安、金利上昇等、不確定要素が多く、中小企業では解決できないことばかりで、全く先が読めない。そのため、設備投資も控えなくてはならなくなっている。

□	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・中東情勢が収束しない限り、自動車メーカーは計画比で減産する見通しであり、景気は後退する。
□	建設業 (経営者)	・景気全体としてはこう着状態である。メディアなどで景気が悪いと言っているが、実際どうなのかは疑問である。
□	建設業 (従業員)	・世界情勢が安定していないため、不安が募っている。原油価格の高騰に伴う物価上昇で、原価がますます上がっており、先行きに不安が残る。
□	建設業 (営業担当)	・悪い状態が続くとみられるが、時期的に官公庁の工事入札量が多少安定するため、良くはならないが悪くもならない。
□	輸送業 (総務担当)	・荷主の国内出荷は閑散期になり、燃料の動向次第では、大きく低迷する予想である。今後も情勢を見極めていく必要がある。
□	通信業 (広報担当)	・当面は現状のままとみられるが、今後は下押し圧力が高まる (東京都)。
□	金融業 (営業担当)	・製造業関連の受注予測は、先行きの不透明感が払拭できない状況が続いており、改善し得る要因は余り見当たらない企業が多い。不動産関連は郊外の戸建ての冷え込みがやや見受けられるものの、首都圏近郊物件の活発な状況は継続している。
□	不動産業 (経営者)	・当社テナントビルの入居率に変化はないが、近隣の賃貸住宅あっせん業者の話によると、来店、インターネット共に商談は減少しており、ライフスタイルに合う物件への移転、賃貸から持家への住み替えなど様々な希望はあるものの、物件価格の高騰により、現状で我慢している様子がかがえるため、しばらく動きは鈍いとみている。
□	不動産業 (経営者)	・政治や国際情勢の先行きが不透明である (東京都)。
□	不動産業 (従業員)	・そろそろ上昇基調が落ち着いてくる (東京都)。
□	不動産業 (総務担当)	・中東情勢が緊迫化しているが、この先2～3か月においては、景気は変わらず良い (東京都)。
□	広告代理店 (経営者)	・AIツールの普及による業務環境の変化が続いているが、短期間で大きく状況が変化するとは考えにくい。取引先でもAI活用を試行する動きがあるものの、完全な内製化には時間が掛かるとみられる。当社としてもAIツールの導入や学習を進めているが、業務内容や受注量に急激な変化が出る段階ではない。当面は現状が続き、景況感は大きく変わらずに推移する (東京都)。
□	税理士	・中東の海峡閉鎖により石油の調達に滞っている影響から、ガソリン、ナフサなども高くなっている。円安も続いているため、中小零細企業は原材料を高値で買うことになっている。大手の輸出企業は円安で利益が増えているだろうが、中小零細企業は原材料高、燃料価格の高騰に加え、人手不足で非常に苦戦している (東京都)。
□	社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない (東京都)。
□	その他サービス業 [廃棄物処理] (経営者)	・問合せ等が増えてきているが、原材料、資材等の値上げも予定されており、トータルとしては厳しい状況のまま変わらない。
▲	食料品製造業 (経営者)	・中東情勢の影響に伴う物流費高騰による波及を懸念している (東京都)。
▲	食料品製造業 (経営者)	・マイナス要因がいろいろと増えているため、悪くなる (東京都)。
▲	繊維工業 (従業員)	・原油市場の混乱により、この先徐々に影響が出てくる恐れがある (東京都)。
▲	化学工業 (従業員)	・中東情勢の影響が出始めており、原料の納期が不透明になっているため、生産に影響が出そうである。
▲	化学工業 (総務担当)	・中東の海峡封鎖の影響により、化学品の価格高騰、供給制限が始まりつつあり、当社の事業にも相当のダメージがあるとみている。
▲	その他製造業 [化粧品] (営業担当)	・中東情勢の影響による原油価格高騰など、物価変動の余波を受けやすい業界のため、やや悪くなる (東京都)。
▲	建設業 (経営者)	・急激な価格高騰により物件数が目減りする。
▲	金融業 (従業員)	・中東情勢の先行き不透明感は、中小企業の経営環境に継続的な不確実性をもたらしている。原油価格上昇により、原材料価格が高騰し、収益の圧迫や取引の遅延、回収不能といったリスクも懸念される (東京都)。

		金融業（総務担当）	・値上げはまだ続きそうであり、実質賃金が上がっても実感が湧かない。ガソリン価格も上がっており、車で旅行する人が減っているため、観光業や宿泊業に影響が出そうである。住宅ローン金利上昇の影響もあり、都内のマンションの売行きが低迷し始めている。消費者は買い控えをし、無駄な物を買わなくなっている。リユース販売業は好調である（東京都）。
	▲	金融業（支店長）	・株価の上昇に無関係な中低所得者の生活は圧迫され、その層を相手に商売している店の収支も悪化の一途をたどっている。
	▲	不動産業（経営者）	・エネルギー価格の上昇から、全てのコストが上がりそうである（東京都）。
	▲	不動産業（従業員）	・材料費等の高騰につき、建設費全体が厳しくなる可能性が高い（東京都）。
	▲	広告代理店（営業担当）	・中東情勢の緊迫化が長引きそうであり、更なる物価高が見込まれることから、クライアントの宣伝費が抑制される（東京都）。
	▲	経営コンサルタント	・中国との関係や中東情勢など不安定な要素が多く、景気が良くなる材料がない。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・5～8月頃までは受注量が減少する見込みである（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・原油価格の高騰の流れで資材全般の値上げ交渉が多々発生しており、見積りの際に慎重にならざるを得ない。また、今後どの程度の値上げになるか、資材の調達ができるか、予想がつかないことを考えると、最悪な状況といえる（東京都）。
	×	輸送業（経営者）	・中東情勢の収束にどの程度時間が掛かるのか注目している。仮に長引けば、状況の悪化は避けられない（東京都）。
	×	輸送業（経営者）	・物量とは別に、燃料価格の上昇の影響が大きい（東京都）。
	×	広告代理店（従業員）	・今月は良かったが、期末という1年でも特殊な月であるため、2～3か月先は今日よりは悪くなる（東京都）。
	×	税理士	・中東情勢が改善されなければ原油価格の高騰は確実である。価格の問題だけでなく、原油そのものが入手困難にもなりかねない。原油調達を中東に依存し過ぎていたため、他の入手方法を官民一丸となって考えた方がよい。
	×	経営コンサルタント	・重油不足はどの分野にも多大な影響がある（東京都）。
	×	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・原油価格の高騰により物価が上昇する。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・ガソリン価格の高騰が景気を押し下げる（東京都）。
雇用 関連  (南関東)	◎	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現時点でかなりの予約が入っている。現在の事業がうまくいっておらず、他業種に転換するために新たに求人をするような依頼がかなりある。
	○	人材派遣会社（支店長）	・自社も他社も忙しさはあるので、経済が回り始めてほしい。
	○	職業安定所（職員）	・求人数の増加傾向が続いており、今後も同様の動きが期待できる。
	□	人材派遣会社（社員）	・今後も求人数が減ることはなく、同水準で推移する。
	□	人材派遣会社（社員）	・課題解決型の請負案件が多くある。今後もその流れは変わらない（東京都）。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数に大きな変化はない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・4月に入り新年度が始まるとともにエンジニア派遣ニーズが回復する期待はあるものの、現時点では予測不能である。4月の動向を確認したい（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・国際情勢が不安定であり、予断を許さない（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（広報担当）	・物価高などのマイナス要因もあるが、景気が良い状態が続くとみている（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（所長）	・表面的な変化はあるものの、根本が変化している兆候はみられない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は前年比で微減が続いているが、事業所の担当者からは人手不足で新規の仕事を受けられないとの声も多く聞かれる。

□	職業安定所（職員）	・先行きの不透明感が強く、判断が難しい（東京都）。
□	民間職業紹介機関（経営者）	・企業からの求人は幅広い業種であるものの、企業側の条件が結構厳しく、条件に合う人がなかなか見つからない状況は今後も続く（東京都）。
▲	人材派遣会社（支店長）	・中小企業では、人手不足ではあるものの、人件費や物価上昇に伴うコスト圧迫もあり、必要な人材採用も手控える企業がある（東京都）。
▲	人材派遣会社（社員）	・物価が安定しないため、暮らしへの影響が大きい（東京都）。
▲	人材派遣会社（社員）	・中東情勢の影響により、やや悪化方向と考えている（東京都）。
▲	人材派遣会社（社員）	・採用活動が一段落するため、やや悪くなる（東京都）。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・求人情数の動きは例年どおりだが、年度末の3月を超えたタイミングで求人数が減少し、業界全体として落ち着く。派遣就業総数は若干減少する程度とみている（東京都）。
▲	職業安定所（職員）	・製造業において、需要の減少と経費の増加により人員整理が行われている。
×	人材派遣会社（社員）	・中東情勢の影響を受けて、求人数も減少するとみている（東京都）。
×	求人情報誌製作会社（営業）	・原油価格高騰や物価の上昇により、生産を抑えたり雇用を減らす動きが加速している。体力が持たずに倒産する企業も増えてくる。